

# 令和元年度事業報告書

一般財団法人 日本医薬情報センター  
(JAPIC)

# 令和元年度事業報告

## はじめに

JAPICは、一般財団法人として医薬品・医療機器等に関する国内外の情報を迅速に集め、公正な立場で整理・分析して的確でかつ使いやすい・見やすい形に加工し、これらを製薬企業及び医療機関等に提供することによって、広く社会に貢献することを目指し、事業を積極的に進めている。

令和元年度は、第六期中期3カ年計画（平成29～令和元年度）の最終年度であり、前年度に引き続き、中期3カ年計画の事業方針「ITを活用し、業務の効率化及びコスト削減を図り、サービスの質の維持・向上と財政の健全化に努めること」、「人員の弾力的な運用等を行い、強化すべき事業や新規事業の創生に取り組むこと」及び「研修の機会を増やすこと等により、職員の資質や能力の向上を図ること」に留意して事業に取り組んだ。

ITの活用については、手作業の業務プロセスを自動化し、業務の効率化やサービスの質の向上等を図るため、RPA（Robotic Process Automation）を導入し、業務の前処理作業等に一定の成果を得ている。また、昨年発生した大型台風の際には多くの鉄道会社が計画運休を行うなどの異例の対応がとられたこと等から、このような不測の事態が発生した場合の事業継続を図るため、外部から社内ネットワークへアクセスするためのリモートアクセスツールを試験的に導入し、遠隔地からでも円滑に事業を継続するための業務の洗い出しやプロセスの見直し、ビジネスチャットツールの検証を行った。

職員の資質・能力向上については、JAPIC全体の教育研修計画を策定し、計画的に教育・研修を行うとともに、さらに、令和元年度は、大学から講師を招いて定期的に薬剤疫学セミナーを開催し担当者教育を継続して行った。また、外部機関が提供する「Web教育サービス」を試験的に導入し、令和2年度の本格導入に向けての足掛かりとした。

その他の事業についても令和元年度事業計画に沿って、概ね計画どおり遂行することができた。

# 第 I 事業活動報告

「第 I 事業活動報告」の記載については、事業と支出の関係を分かりやすくするため、会計（決算）と同じ区分で整理した。

## I. 添付文書情報提供事業（公益目的支出計画実施対象事業：継続事業1）

### 1. 医療用及び一般用医薬品添付文書の収集、提供

#### (1) 医療用医薬品添付文書の収集、提供

独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「PMDA」という。）から新規及び更新分の医療用医薬品添付文書を日々ダウンロードし、収集・メンテナンスを行った。令和2年3月末現在の保管添付文書件数は14,586件（22,551品目）である。これら入手した添付文書は、独自のテキストデータ（XML）に加工、保存し、出版物やデータベース等として提供した。

#### (2) 一般用医薬品・要指導医薬品添付文書の収集、提供

令和元年度に調査・収集した一般用医薬品・要指導医薬品添付文書（令和2年3月末現在10,659品目）を基にiyakuSearch上で公開しているPDFを更新している。また、日本製薬団体連合会の委託を受けて、PMDAホームページでの一般用医薬品・要指導医薬品添付文書の公開に全面的に協力した。収集した一般用医薬品・要指導医薬品添付文書を独自のテキストデータとしてメンテナンスの上、保管し、出版物やデータベース等として提供した。

### 2. 医薬品集等出版物の発行

#### (1) 医薬品集の発行

8月に「JAPIC医療用医薬品集2020」及び「薬剤識別コード一覧」を、9月に「JAPIC一般用医薬品集2020（要指導医薬品を含む）」を発行した。また、令和2年3月に「JAPIC医療用医薬品集 普及新版2020」を発行した。なお、「JAPIC医療用医薬品集2020」については、更新情報をWeb版として年10回提供した。

#### (2) 医薬品集CD-ROMの発行

「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM」を年4回、「JAPIC OTC医薬品CD-ROM」を年1回発行した。また、「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM」を大学薬学部・薬科大学及び医学部の4年生に無償で提供を行った。

#### (3) 「日本の医薬品 構造式集」の発行

令和2年3月に「日本の医薬品 構造式集2020」を発行した。大学薬学部・薬科大学の新1年生及び教員に無償で提供を行った。

#### (4) 「医薬品製造販売承認品目一覧」の発行

JAPIC「承認品目情報」データベース「SHOUNIN」で提供した1年分（2018年1月～12月承認分）をまとめて冊子にし、4月に「医薬品製造販売承認品目一覧」2019年版を発行した。

### 3. 医薬品添付文書関連情報のデータ提供

- (1) 医療用及び一般用医薬品・要指導医薬品添付文書の全文データ及びイメージデータを作成、提供した。
- (2) 医薬品と対応病名データ（以下「病名データ」という。）の提供  
病名データの更なる充実を図るため、昨年に引き続き、月次査読を行い、関連病名の拡大と関連性の向上に迅速に対応できるようにした。
- (3) 各種データ（禁忌・相互作用・用法用量）の提供  
医療用医薬品添付文書に関連したデータを医療機関等のニーズに応じて、添付文書全文、禁忌・相互作用・用法用量の個別項目ごとの独自システムにより各種データを作成、提供した。
- (4) 一般用医薬品については、引き続き厚生労働省医政局経済課から提供される医薬品銘柄コード（経済課コード）データをWHO等外部へ提供した。
- (5) お薬手帳（電子版）サービスの開発・提供事業者等にデータを利用いただけるよう積極的に働きかけ、ユーザの拡大を図った。

### 4. 効能効果の対応標準病名及び医薬品類似名称検索システムのWEBによる提供

医療用医薬品添付文書の効能効果とこれに対応する標準病名の関連付けや、医療機関における医薬品適正使用、副作用発生防止の支援及び類似名称による誤使用を防止するため、JAPICのホームページから無償で検索できる「効能効果の対応標準病名」及び「医薬品類似名称検索システム」をWEBより提供した。

### 5. 後発医薬品の信頼性向上のための品質情報集（ブルーブック）作成への協力

平成28年度から厚生労働省医薬・生活衛生局は後発医薬品の信頼性向上を図るため、有効成分ごとに品質情報を体系的にまとめた品質情報集（ブルーブック）を作成・公表することとなった。JAPICはこの事業に積極的に協力し、後発医薬品の品質情報に関する調査、データ入力を行い、リンク先として効能効果等の差を確認できるデータベース「ブルーブック連携データベース」を提供した。

### 6. 医療用医薬品添付文書記載要領見直しへの対応

平成31年4月から実施された医療用医薬品添付文書記載要領の見直しに対応するため、添付文書管理システムの改修、JAPIC XMLデータ定義の変更及びXML編集システムの改修を行った。添付文書管理システムの改修は平成31年4月に完成し、4月から公開された新記載要領の添付文書の受け入れに対応した。データ定義の変更及びXML編集システムの改修は9月に完了し、新記載要領に対応した新形式のデータを従来形式のデータと合わせ提供を開始した。また、医療用医薬品集についても、添付文書記載要領の見直しに対応させるため、書籍、CD-ROMともに編集システムの改修を行い、令和元年7月末に発刊した7月版から新記載要領に対応させた。

## 7. 調査、相談業務

JAPIC会員、医療機関を中心に医薬品に関する相談（錠剤識別等）及び医薬品の調査を行った。平成31年4月から令和2年3月末までに受けた医薬品相談（DI）業務は22件、調査は1件であった。

## II. 薬事関連情報提供事業（公益目的支出計画実施対象事業：継続事業2）

### 1. 海外規制措置情報（JAPIC Daily Mail）等の提供及び海外文献情報の提供

JAPIC Daily Mail（JDM）、JDM Extra及び外部データベースを利用した文献検索の各サービスにおけるユーザ数は毎年増加傾向にある。

#### （1）海外規制措置情報（JDM及びJDM Extra）の提供

環境の変化や医薬品等企業のニーズへの対応を目的として開発し平成30年4月から稼働のシステムを安定的に稼働させ、提供情報の充実を図った。

JDMにおける調査対象サイトの整備を実施し、新規採用候補サイトの検討、サイトの移行及び情報更新を認めないサイトの削除などを行った。予てからユーザよりニーズのあった調査対象国追加について検討を行った。

#### （2）生物由来製品等の感染症情報（JDM Plus）の提供

JDM Plusサービスにおける調査対象サイトの整備を実施し、複数のサイトを新規採用し、サイトの移行及び情報更新を認めないサイトの削除などを行った。

#### （3）生物由来製品等の感染症情報の文献検索サービス

外部データベースを利用し、登録された動物種または医薬品ごとに生物由来製品等に関する感染症の文献情報を検索し、その結果を提供した。

#### （4）JAPIC Pharma Report-海外医薬情報の提供

JAPICホームページ「世界医薬の窓」から月1回更新し、無料で提供した。

#### （5）JAPIC WEEKLY NEWSサービスの提供

JDMサービスの記事の中から主として医療機関並びに医学・薬学教育機関向けに役立つ情報を選択して、無料で週1回、電子メールで提供した。

#### （6）海外の文献学会情報の提供

外部データベース（MEDLINE、Embase等）を利用した文献検索サービスは、検索結果の提供の他、スクリーニング補助やデータ加工にも応じ、滞りなく海外の文献学会情報を提供した。

### 2. 大規模安全性情報（JAPIC AERSサービス）の提供

米国食品医薬品局（FDA）が提供する医薬品有害事象自発報告システム（FAERS）の公開データを基にデータクリーニング等の整備を行い（約1,240万症例を蓄積）、JAPIC FAERSデータとして医薬品等企業、行政機関、大学等に提供した。また、JAPIC FAERSデータ及びPMDAが提供する医薬品副作用データベース（JADER）で公開される副作用が疑われる症例報告に関する情報のデータを使用し、JAPIC独自開発のシステムを用いた調査・解析サービスを提供した。

データ提供は5機関、調査・解析サービスは2機関7件の利用があり、また行政機関、大学等と

は新たに2機関と3件の共同研究を開始した。こうした活動を通じて医薬品安全管理業務の情報ツールとして広く認知されるよう普及啓発を図り、利用者の拡大に努めた。

### 3. 医薬品情報データベース (iyakuSearch) の提供

iyakuSearchについては、多くの医療関係者や製薬企業の会員等に、医薬文献情報・学会演題情報等の医薬品の基礎から臨床までの有効性・安全性・品質に関する情報、添付文書関連情報、臨床試験情報 (JapicCTI)、日本の新薬 (新薬承認審査報告書) の情報等JAPICが保有する医薬品に関する情報を公開・提供している。

#### (1) iyakuSearch講習会の実施

JAPIC職員によるiyakuSearch出張講習会を4大学で実施した。大学からの要請で始めてから約10年になり、JAPIC知名度向上の一助になっている。

#### (2) 臨床試験情報データベースの提供

臨床試験情報 (JapicCTI) はWHO Trial Registration Data Set (Version1.3) に合わせて改修したシステムにて円滑な臨床試験情報の公開を行った。

#### (3) 「日本の新薬—新薬承認審査報告書—」データベースの提供

令和2年3月末日現在の新薬承認審査報告書の収録件数は1,273件であり、令和元年度は67件の登録を行った。

### 4. その他の薬事関連情報の提供

#### (1) 製薬協からの受託業務

製薬協・出版センターが実施していた製薬協各委員会等編集の書籍を販売する出版事業及び製薬協各委員会主催の講演会等を開催するセミナー事業を平成27年1月から受託している。製薬協各委員会に協力し、令和元年度は出版物を2点発行し、また、4月に製品情報概要審査会、7月・10月・11月に医薬品評価委員会、9月・11月に品質委員会主催の各セミナーを円滑に実施した。

#### (2) 日本の新薬等の出版物の発行

PMDAホームページで公開されている新薬承認審査報告書PDFをXMLデータに加工し、データベース「日本の新薬」としてiyakuSearchで公開するとともに、年に1回書籍を発行している。令和元年度は平成30年に承認された67品目を承認月順に収録し、10月に92～97巻を発行した。

### 5. 図書館の運営

医学・薬学関連の学会関係資料、逐次刊行物、世界各国の医薬品集・薬局方等を収集し、JAPICの事業に活用するとともに、薬の専門図書館として広く公開した。

#### (1) 収集業務

国内・海外の逐次刊行物はWeb配信のみで発行されている資料も含め、所蔵・管理する逐次

刊行物は773タイトルとなった。

学会関係資料については、前年度より多少増加し4,879件の資料を収集し、JAPIC-Qサービスの充実を図るとともに、医療関係者への情報提供を行った。

世界各国の医薬品集・薬局方等については他の図書館では所蔵していない貴重な資料が多数あり、広く利用されるため、引き続き最新版の入手と原本の保存に努めた。

## (2) 複写サービス

医療関係者や製薬企業関係者からの複写申込、iyakuSearchの検索結果からの複写申込について迅速な複写サービスを行った。全国の大学図書館、病院図書室等からの複写依頼についても幅広く対応した。

## (3) 所蔵資料の公開・閲覧サービス

逐次刊行物、単行本の新着案内、蔵書検索、医学・薬学関連の学会開催情報などをWebで公開することにより、会員のみならず一般の医療関係者、大学や病院図書室関係者にも広く利用され、一般に公開している薬の専門図書館としての役割を果たした。

## (4) 著作権処理に関する取り組み

一般社団法人出版者著作権管理機構及び一般社団法人学術著作権協会との契約に基づき、複写物の利用目的に応じて適切な著作権処理を行った。

## 6. 広報活動

### (1) 医薬品・医療機器企業への広報活動

#### ① 製薬企業

製薬企業に対しては、JAPIC提供サービス利用ユーザを中心に訪問し、ニーズにあわせて「JAPIC-QXサービス」、「外部データベースを利用した文献検索サービス」などのPRを行い、利用拡大に努めた。

また、新設製薬企業を積極的に訪問し、会員への勧誘とJAPIC-Q及びJAPIC Daily Mail関連サービスにおける更なるユーザの獲得に努めた。

#### ② 医療機器企業

医療機器企業に対しては、医療機器関係団体事務局等の協力を得てユーザ会や医薬品・医療機器関連情報等の講演会等を案内するなど、会員の勧誘に努めた。「JAPIC-Q医療機器情報サービス」、「JAPIC Daily Mail (JDM) サービス」及び「外部データベースを利用した文献検索サービス」におけるユーザ拡大に一定の成果をあげた。

### (2) 学会等展示、講習会及びダイレクトメールの実施

#### ① 学会等への展示

下記学会等に出展し、書籍やサービスのパンフレットを配布したほか、添付文書情報関連データ及びそのデータを活用したアプリケーション等を中心に展示を行った。

- ・第22回日本医薬品情報学会総会・学術大会 2019.6.29～30 (札幌市)
- ・国際モダンホスピタルショウ2019 2019.7.17～19 (江東区)



- ・第5回医薬品安全性学会学術大会 2019.7.27～28 (葛飾区)
- ・平成31年度日本薬学図書館協議会研究集会 2019. 8.22 (札幌市)
- ・第20回日本医療情報学会看護学術大会 2019.9.27～28 (江戸川区)
- ・第3回日本臨床疫学会年次学術大会 2019.9.28～29 (福岡市)
- ・第29回日本医療薬学会年会 2019.11.2～4 (福岡市)
- ・第39回医療情報学連合大会 2019.11.21～24 (千葉市)

② 医療機関（病院、診療所、薬局等）へのダイレクトメールの実施  
 令和元年7月及び令和2年2月に医療機関（病院、診療所、薬局等）約4万カ所へダイレクトメール（パンフレット等）を発送した。

③ iyakuSearch講習会の実施  
 JAPIC職員によるiyakuSearch出張講習会を4大学で実施した。大学からの要請で始めてから約10年になり、JAPIC知名度向上の一助になっている（再掲）。

(3) 月刊広報誌の発行、JAPICパンフレット及びガイドブック等の作成  
 医薬品・医療機器等の安全性に関する情報等を発信するとともに、JAPICの活動をお知らせする月刊広報誌「JAPIC NEWS」を会員等に送付した。また、JAPICパンフレット及びガイドブック等を作成・配布した。

## 7. 研修会・講演会等の開催

### (1) JAPICユーザ会

令和元年6月17日（月） 日本薬学会長井記念ホール（参加者106名）

令和元年6月19日（水） 大阪ブリーゼプラザ（参加者41名）

JAPICから新しい事業や令和元年度のトピックについての説明を行った。また、特別講演として、以下の者が講演した。

演 題：「薬機法改正の動向」

JAPIC理事 赤川 治郎

### (2) 医薬品・医療機器情報講座

医薬品関係

令和元年7月26日（金） 大阪ブリーゼプラザ（参加者67名）

令和元年7月29日（月） 日本薬学会長井記念ホール（参加者155名）

演 題：「医薬品の安全対策の取組みについて」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

(大阪会場) 医薬品安全対策第二部

梅田 ひかり 氏

(東京会場) 安全性情報・企画管理部 リスクコミュニケーション推進課

岡本 麻依 氏

演 題：「製薬企業における医薬品リスク管理計画と添付文書の取組みの現状と今後」  
 日本製薬団体連合会

(大阪会場) 安全性委員会 副委員長

木野 孝一 氏

(東京会場) 安全性委員会 委員長

滝田 諭 氏

演 題：「最近のトピックから見た製造販売後安全対策の重要性」

昭和大学薬学部 専任講師 齋藤 充生 氏

#### 医療機器関係

令和元年7月30日(火) 日本薬学会長井記念ホール(参加者119名)

演 題：「医療機器の安全対策の取組みについて」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

安全性情報・企画管理部 リスクコミュニケーション推進課

渋井 雅志 氏

演 題：「医療機器行政に係る最近の動向について」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課

江田 美沙子 氏

演 題：「最近のトピックから見た製造販売後安全対策の重要性」

昭和大学薬学部 専任講師 齋藤 充生 氏

#### (3) 薬事研究会：第146回

令和元年12月6日(木) 日本薬学会長井記念ホール(参加者 135名)

演 題：「安全対策行政の最近の動向」

厚生労働省医薬・生活衛生局 医薬安全対策課長

関野 秀人 氏

演 題：「最近のPMDAの医薬品等の安全対策について」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

医薬品安全対策第二部長

井口 豊崇 氏

### Ⅲ. 医薬文献情報提供事業（その他の主要な事業）

#### 1. 医薬文献・学会情報の提供（JAPIC-Q、JAPIC-QX、JAPIC-Q医療機器等）

平成30年度提供分よりJAPIC-Q、QX、医療機器情報サービス等で利用している新システム「医薬文献管理システム（PhaDoMs4）」での提供を開始し、継続して精度の高いデータを提供した。

##### （1）JAPIC-Qサービスの提供

令和元年度は、国内開催の学会予稿集・プログラム約5,500学会（約390,000演題）、医学薬学関連学術雑誌483誌（3,378冊、約47,000論文）を対象に採択しキーワードを付与し提供した。

##### （2）JAPIC-Q Plusサービス（生物由来製品の感染症情報）の提供

厚生労働省健康局長通知等を基に採択対象とする感染症を随時更新し月1回提供した。また、再生医療等製品にも対応した。

##### （3）JAPIC-QXサービスの提供

JAPIC-Qサービスの検索結果を個別ユーザの要望に応じて加工して提供するJAPIC-QXサービスは対応体制を整え安定的に提供した。

##### （4）JAPIC-Q医療機器情報サービスの提供（再生医療等製品を含む）

JAPIC-Q 医療機器情報サービスは再生医療等製品、検査薬、化粧品などにも対応している。また、ユーザ数が増加したが安定的な提供を維持した。

##### （5）JAPIC-Q海外情報サービスの提供

キーワード及び採択基準の見直しを実施し、サービスに反映した。

##### （6）医薬品等企業が実施する医薬品等安全確保業務の受託機関としての体制の強化

品質管理担当部門において、教育訓練、自己点検、ベンダー監査、CSVなどを実施し、職員全員が記録、閲覧できる“苦情・逸脱等記録”に基づき品質保証検討会を定期的で開催した。また、委託元医薬品企業による監査にも対応したが、問題となる指摘等はなかった。

#### 2. 外部機関からの医薬文献・学会情報データベース等の提供（JAPICDOC等）

令和元年度も引き続き株式会社ジー・サーチの「JDream III」及び株式会社日本経済新聞社の「日経テレコン」より医薬文献情報などを提供した。

#### 3. JAPIC医薬品情報総合検索サービス（PharmaCross）の提供

医薬文献情報、学会演題情報、添付文書情報をはじめとするJAPIC医薬品情報データベース（iyakuSearch）公開コンテンツのデータを中心に、医薬品集等書籍・CD-ROMのデータ等を集約し、これらを横断的に検索できるほか、さらに構造式やJAPIC AERSデータ等を含むJAPIC保有の各種医薬品情報を成分単位で一覧表示する機能、また、検索結果データのダウンロード機

能を有する等の会員向けサービスを提供した。

#### 4. 全文検索データベース (Where) の活用

医療関係者を中心に広くご利用いただいている。掲載学会抄録数は、2008年10月～2020年1月までの約390万件。登録ユーザー数818名（令和2年3月現在）

<出版物等一覧>

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| (1) 「JAPIC Daily Mail」サービス No. 4347～No. 4586   | 毎日送信                          |
| (2) 「JAPIC Daily Mail Plus」サービス No. 791～No.843   | 毎週送信                          |
| (3) 「JAPIC WEEKLY NEWS」サービス No. 696～No. 745  | 毎週送信                          |
| (4) 「JAPIC Pharma Report－海外医薬情報」平成31年4月号～令和2年3月号<br>「JAPIC Pharma Report－海外医薬情報速報」No.1177～No.1226  | 毎月掲載<br>毎週発行                  |
| (5) 「JAPIC NEWS」No.420～No.431  | 毎月発行                          |
| (6) 「JAPIC Guide」2019  | 4月発行                          |
| (7) 「医薬品製造承認品目一覧」2019年版(2018年1月～12月承認分)  | 4月発行                          |
| (8) 「JAPIC医療用医薬品集」2020年版   | 8月発行                          |
| (9) 「薬剤識別コード一覧」  | 8月発行                          |
| (10) 「JAPIC医療用医薬品集」更新情報web配信   | 毎月送信                          |
| (11) 「JAPIC一般用医薬品集」2020年版  | 9月発行                          |
| (12) 「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM」2019年4月版<br>「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM」2019年7月版<br>「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM」2019年10月版<br>「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM」2020年1月版 | 4月発行<br>7月発行<br>10月発行<br>1月発行 |
| (13) 「JAPIC医療用医薬品集 普及新版」2020年版   | 3月発行                          |
| (14) 「JAPIC OTC医薬品CD-ROM」2019年7月版  | 7月発行                          |
| (15) 「日本の医薬品 構造式集2020」   | 3月発行                          |
| (16) 「日本の新薬 一新薬承認審査報告書集」92～97巻   | 10月発行                         |

## <各専門領域における活動状況>

### 著書・論文等

- ・情報の科学と技術 2019年 69巻 12号 p.564-565、p.566-567  
特集：第16回情報プロフェッショナルシンポジウム (INFOPRO2019)  
トーク&トーク：「インフォプロの未来」を考える～INFOPRO新たな出発！～  
に参加して  
(医薬文献情報担当 小佐野 郁香、杉山 むつみ)
- ・薬学図書館 64巻2号 2019年4月30日発行  
特集：第35回医学情報サービス研究大会 GVP に対応した医薬品情報の収集と提供  
—図書館の活動と学会資料の収集を中心として—  
(図書館部門 小山 政子)
- ・奈良県薬剤師会 機関誌  
奈良県薬剤師会誌 第179号 (2019年4月)～第180号 (2019年6月)  
連載「プレアボイドや疑義紹介への医薬品情報データベースの活用」  
第3回～第4回 具体的な情報検索事例の紹介  
(医薬文献情報担当 井上 彰)
- ・滋賀県薬剤師会 機関誌  
滋賀県薬会誌 No.182 (2019年4月)～No.185 (2020年1月)  
連載「プレアボイドや疑義紹介への医薬品情報データベースの活用」  
第1回 医薬品情報データベース「iyakuSearch」の紹介  
第2回～第4回 具体的な情報検索事例の紹介  
(医薬文献情報担当 榎原 統子、小佐野 郁香、井上 彰)
- ・北海道薬剤師会 機関誌  
道薬誌 第36巻9号 (2019年9月)～第36巻12号 (2019年12月)  
連載「プレアボイドや疑義紹介への医薬品情報データベースの活用」  
第1回 医薬品情報データベース「iyakuSearch」の紹介  
第2回～第4回 具体的な情報検索事例の紹介  
(医薬文献情報担当 榎原 統子、小佐野 郁香、井上 彰)

## 第Ⅱ 一般事業報告

### I. 組織等の現状

#### 1. 運営基盤の強化

##### (1) 医療機器企業会員等の拡充

医療機器関係団体事務局等の協力を得てユーザ会や医薬品・医療機器関連情報等の講演会等を案内するなど、会員の勧誘に努めた。(再掲)

##### (2) 事業継続計画対策としてのテレワークの試験的導入と検証

不測の事態が発生した場合の事業継続を図るため、ノートパソコンの採用や遠隔地から社内ネットワークへアクセスするためのリモートアクセスツールを試験的に導入し、遠隔地からでも円滑に事業を継続するための業務の洗い出しやプロセスの見直し、ビジネスチャットツールの検証を行った。

##### (3) 業務の効率化とサービスの質の向上

手作業の業務プロセスを自動化し、業務の効率化やサービスの質の向上等を図るため、RPA (Robotic Process Automation) を導入し、業務の前処理作業等に一定の成果を得ている。

#### 2. 人材育成

JAPIC全体の教育研修計画を策定し、計画的に教育・研修を行うとともに、受託安全確保業務に対応した社内研修を定期的実施した。さらに、令和元年度は、大学から講師を招いて定期的に薬剤疫学セミナーを開催し担当者教育を継続して行った。また、外部機関が提供する「Web教育サービス」を試験的に導入し、令和2年度の本格導入に向けての足掛かりとした。

#### 3. 令和元年度決算

令和元年度決算については、JAPIC全体の収入総額は17億4900万円であり、この内訳は公益事業に相当する(公益目的支出計画に基づく)添付文書情報提供収益等「実施事業等会計」が6億9,800万円(40%)、収益事業に相当する医薬文献情報提供収益等「その他会計」が6億2,000万円(35%)、基本財産等受取利息や会費収入等「法人会計」が4億3,200万円(25%)であった。

一方、支出総額は16億9,800万円であり、この内訳は「実施事業等会計」が9億800万円、「その他会計」が5億7,600万円、法人運営等の管理費に相当する「法人会計」が2億1,300万円であった。

この結果、令和元年度の収支決算は、当初予算の500万円の赤字から改善し、5,100万円の黒字となった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により有価証券の評価損益等がマイナス7,100万円となったため、当期経常増減額としては、マイナス1,900万円であった。

#### 4. 公益目的支出計画(実施事業等会計)に基づいた執行

公益事業である添付文書情報提供事業及び薬事関連情報提供事業については、内閣総理大臣に

提出した公益目的支出計画に基づき実施した。

公益目的収支差額は、医薬品集の発行が令和元年度から当財団だけになったことや過去に遡及した収入が令和元年度にあったこと等から添付文書情報提供事業の収入がこれまで以上に増加し、加えて薬事関連情報提供事業についても「JDM等の海外情報」等が順調に伸びたこと等から計画（見込）額△3億6,700万円に対して△2億1,100万円であった。

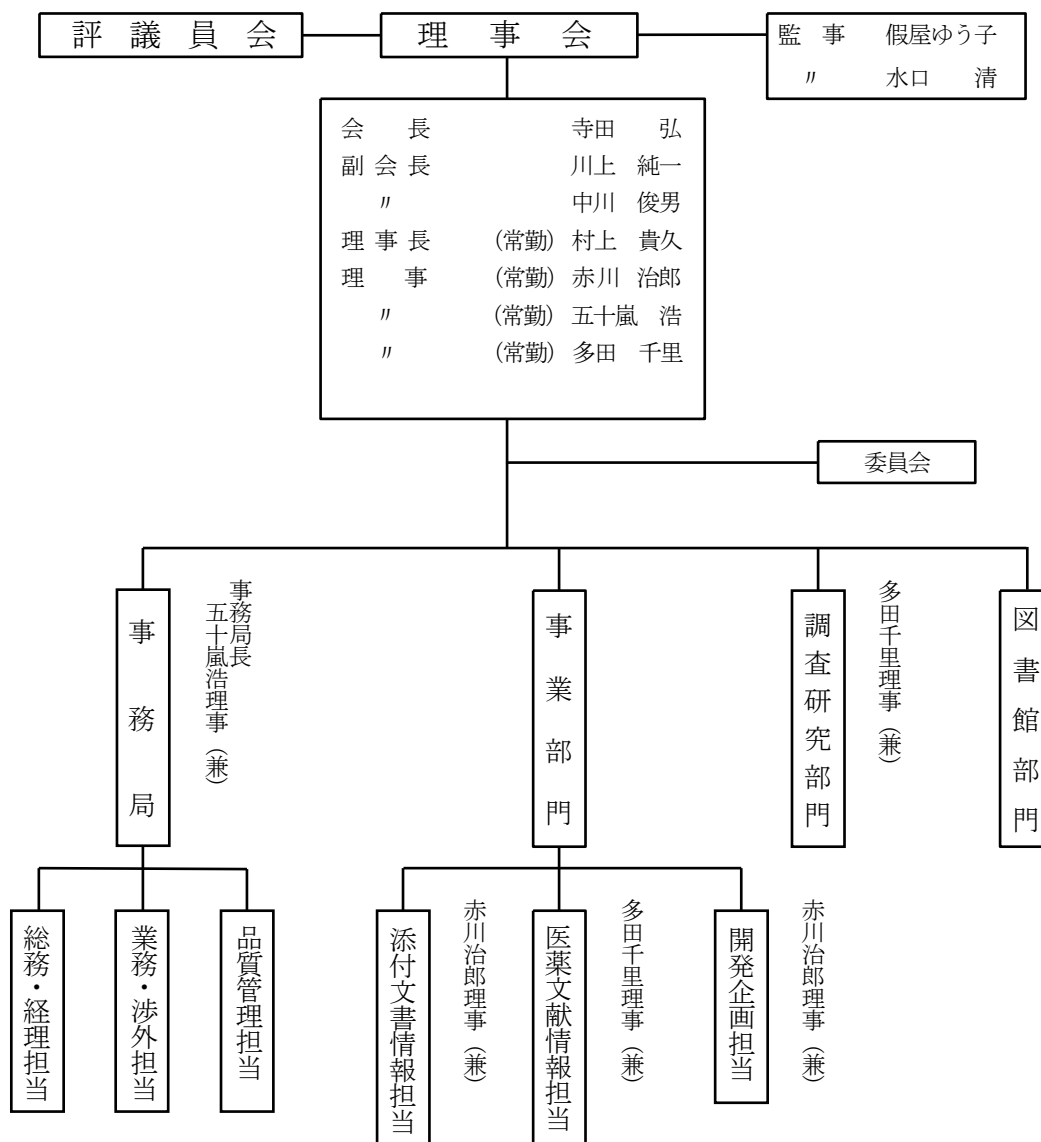
公益目的支出計画では平成24年度から令和元年度までの8年間で29億4,100万円の公益目的収支差額が発生し、公益目的財産残額は6億5,900万円となっているが、収支差額の現状は20億8,000万円であり、財産残額は15億2,100万円となっている。

今後も添付文書記載要領の改訂に伴うシステム改修や減価償却費等の増加が見込まれるものの、薬事関連情報提供事業の「JDM等の海外情報」等も順調に推移しており、当初計画と乖離する傾向が続いていること等を踏まえると、令和2年度と令和3年度の残りの2年で15億2,100万円の公益目的収支差額が発生するのは困難であると言わざるを得ない。そのため、これまでの公益目的支出計画の執行状況や今後の事業の見通し等を検証し、令和2年度中に内閣府とも相談の上、公益目的支出計画を見直したい。



<組織一覧>

令和2年3月31日現在の組織は下図のとおりである。



(参考) 令和2年3月末現在の役職員数

常勤役員 4人、正規職員 60人、嘱託職員等 16人、短時間勤務職員 18人

合計 98人

## Ⅱ. 各種会議等の開催状況

### 1. 理事会

- (1) 令和元年度第1回理事会（通算第146回） 令和元年5月16日（木） JAPIC会議室  
議 題  
第1号議案 平成30年度事業報告の承認について  
第2号議案 平成30年度決算報告の承認について  
第3号議案 公益目的支出計画実施報告の承認について  
第4号議案 定時評議員会の招集の決定について  
報告事項 1. 維持会員の異動について  
2. 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告について
- (2) 令和元年度第2回理事会（通算第147回） 令和元年6月24日（月） 書面同意による  
議案1. 業務執行理事選定に関する件
- (3) 令和元年度第3回理事会（通算第148回） 令和2年1月27日（月） 書面同意による  
令和元年度第2回評議員会の招集の決定  
(1) 日時及び場所  
(2) 議題
- (4) 令和元年度第4回理事会（通算第149回） 令和2年3月16日（月） 書面同意による  
議案1. 第七期中期3ヵ年計画(令和2年～4年度)（案）及び令和2年度事業計画（案）  
について  
議案2. 令和2年度収支予算（案）について  
議案3. 令和元年度第2回評議員会招集について  
報告事項1. 維持会員の異動について

### 2. 評議員会

- (1) 令和元年度第1回評議員会（通算第46回） 令和元年6月3日（月） JAPIC会議室  
議 題  
第1号議案 理事の選任について  
第2号議案 平成30年度決算報告の承認について  
報告事項 1. 平成30年度事業報告について  
2. 公益目的支出計画実施報告について
- (2) 令和元年度第2回評議員会（通算第47回） 令和2年3月27日（金） 書面同意による  
議 題  
報告事項 1. 第七期中期3ヵ年計画(令和2年～4年度)及び令和2年度事業計画について  
2. 令和2年度収支予算について

### 3. その他

#### (1) 医薬品類似名称検索システム運営委員会

令和2年3月に運営委員会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染予防を図るため当年度中の開催を延期し、次年度に行うこととした。